学校番号	1001

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	基礎看護－２	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	基礎看護（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では看護の意義と役割、基礎的な知識及び技術を学習する。
・各自ファイルを用意すること。
・実習後には毎回実習レポートを書いて提出する。
・実習で使用する必要な物品を毎回各自持参する。消耗品を購入する際に実習費を徴収することもある。

2　学習の到達目標

(1)看護について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている
(2)看護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する姿勢を持とうとする
(3)よりよい社会の構築をめざして自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	看護の本質について理解している 日常生活の援助、診療と看護について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている	看護の本質にかかわる課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見出している 日常生活の援助、診療と看護について基本的な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見出している	看護の本質を深く理解するために自ら学び、人々の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組んでいる 日常生活の援助、診療と看護について自ら学び、人々が自立した生活を送れるよう主体的かつ協働的に取り組もうとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	診療と看護	バイタルサイン	a：安全・安楽に配慮してバイタルサインを測定し、結果を適切に記録・報告することができる。 それぞれの測定の原理や患者の諸条件及び器具の操作と手順に関する知識を身につけている。 b:バイタルサインに影響を与える因子について思考を深め、影響を最小にするような測定方法を創意工夫することができる。 c：体温、脈拍、呼吸、血圧（以下、バイタルサイン）とその影響因子について関心を持っている。測定技術の習得に意欲的である。	実習 レポート 定期考査	実習 レポート 定期考査	実習 レポート
		包帯法 救命処置	a：包帯の目的、種類に応じて患者の生理機能を妨げないように包帯を適用することができる。状況に応じた救急処置を行うことができる。包帯法や救急処置の意義及び看護者の役割を理解している。救急患者とその家族の心理面に対する配慮の必要性について理解している。 b:状況に応じた包帯法、救命処置ができる。救命患者とその家族の心理について思考を深めることができる。 c：患者の生理機能を妨げないように包帯を適用する技術の習得に意欲的に取り組む。救命処置の意義、役割を理解し、技術を習得する意欲がある。	実習 レポート 定期考査 実技テスト	実習 レポート 定期考査	実習 レポート

	日常生活と看護	食事介助 口腔の清潔(歯磨き) 排泄介助	a: 科学的根拠を踏まえ、対象の状況に応じて安全・安楽を配慮した日常生活の援助を行うことができる。日常生活行動の意義と対象の状態に応じた援助の必要性を理解している。 b:日常生活行動に影響を及ぼす因子と援助について科学的根拠を元に思考することができる。 c: 日常生活行動と健康との関連に関心を持っている。対象の状態に応じて日常生活の援助後術を意欲的に習得しようとする。	実習 レポート 定期考査	実習 レポート 定期考査	実習 レポート
後期	診療と看護	検査 与薬	a: 患者の苦痛や不安の軽減を考えた診察介助ができる。安全で正確な内服薬の与え方、薬物の管理・取り扱いができる。安全かつ正確な薬物の取り扱いに関する知識を身につけている。与薬や検査の課程における看護者の役割を理解している。 b:患者の不安や苦痛を軽減し、診療が円滑に行われるような援助方法を判断することができる。一連の与薬の過程における看護者の役割について思考を深めることができる。 c: 検査の意義や患者の心理に関心を持っている。薬物の効果や管理について関心を持ち、安全で正確な与薬を行うための実践的な態度を身につけている。	実習 レポート 定期考査 実技テスト	実習 レポート 定期考査	実習 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度